

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公表番号】特表 2020-531045 (P2020-531045A)

【公表日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-045

【出願番号】特願 2020-523234 (P2020-523234)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/68	(2017.01)
A 6 1 K	49/00	(2006.01)
A 6 1 K	51/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 1 2 N	15/62	(2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N	15/13	
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 1 2 P	21/08	
C 0 7 K	16/28	
C 0 7 K	16/46	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	47/68	
A 6 1 K	49/00	
A 6 1 K	51/00	2 0 0
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/395	T
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	K
G 0 1 N	33/574	A
G 0 1 N	33/574	D
C 1 2 N	15/62	Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月13日(2021.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗体またはその抗原結合ポリペプチドであって、

(a)

(i) 配列番号 3 または配列番号 2 3 とアミノ酸位置 5 個のうちの 5 個、5 個のうちの 4 個、または 5 個のうちの 3 個で同一であるアミノ酸配列を含む重鎖相補性決定領域 1 (HCDR1) ;

(ii) 配列番号 4、配列番号 2 4、配列番号 4 3、または配列番号 4 4 とアミノ酸位置 1 7 個のうちの 1 7 個、1 7 個のうちの 1 6 個、1 7 個のうちの 1 5 個、1 7 個のうちの 1 4 個、1 7 個のうちの 1 3 個、または 1 7 個のうちの 1 2 個で同一であるアミノ酸配列を含む重鎖相補性決定領域 2 (HCDR2) ; および

(iii) 配列番号 5 または配列番号 2 5 とアミノ酸位置 6 個のうちの 6 個、6 個のうちの 5 個、または 6 個のうちの 4 個で同一であるアミノ酸配列を含む重鎖相補性決定領域 3 (HCDR3) ;

の 1 つまたは複数を含む、重鎖可変ドメインと、

(b)

(i) 配列番号 1 3 または配列番号 3 3 とアミノ酸位置 1 6 個のうちの 1 6 個、1 6 個のうちの 1 5 個、1 6 個のうちの 1 4 個、1 6 個のうちの 1 3 個、または 1 6 個のうちの 1 2 個で同一であるアミノ酸配列を含む軽鎖相補性決定領域 1 (LCDR1) ;

(ii) 配列番号 1 4 または配列番号 3 4 とアミノ酸位置 7 個のうちの 7 個、7 個のうちの 6 個、または 7 個のうちの 5 個で同一であるアミノ酸配列を含む軽鎖相補性決定領域 2 (LCDR2) ; および

(iii) 配列番号 1 5、配列番号 3 5、または配列番号 4 5 とアミノ酸位置 9 個のうちの 9 個、9 個のうちの 8 個、または 9 個のうちの 7 個で同一であるアミノ酸配列を含む軽鎖相補性決定領域 3 (LCDR3) ;

の 1 つまたは複数を含む軽鎖可変ドメインと、を含む、抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 2】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 3 または配列番号 2 3 のアミノ酸配列を含む重鎖 HCDR1 を含む、請求項 1 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 3】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 4、配列番号 2 4、配列番号 4 3、または配列番号 4 4 のアミノ酸配列を含む重鎖 HCDR2 を含む、請求項 1 または 2 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 4】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 5 または配列番号 2 5 のアミノ酸配列を含む重鎖 HCDR3 を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 5】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 2、配列番号 2 2、または配列番号 4 1 のアミノ酸配列と少なくとも 90 % の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 6】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 2、配列番号 22、または配列番号 41 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 7】

前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 13 または配列番号 33 のアミノ酸配列を含む軽鎖 L C D R 1 を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 8】

前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 14 または配列番号 34 のアミノ酸配列を含む軽鎖 L C D R 2 を含む、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 9】

前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 15、配列番号 35、または配列番号 45 のアミノ酸配列を含む軽鎖 L C D R 3 を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 10】

前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 12、配列番号 32、または配列番号 42 のアミノ酸配列と少なくとも 90% の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 11】

前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 12、配列番号 32、または配列番号 42 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 12】

前記重鎖可変ドメインが、配列番号 2 のアミノ酸配列を含む重鎖 H C D R 1 を含み、且つ前記軽鎖可変ドメインが、配列番号 12 のアミノ酸配列を含む；および / または前記抗体または抗原結合ポリペプチドが、配列番号 1 の重鎖と配列番号 11 の軽鎖とを含む；
請求項 1 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 13】

C D 166 の C 末端細胞内ドメイン内のエピトープに特異的に結合する、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドであって、任意選択で、
(i) 前記 C D 166 は、哺乳動物 C D 166 であってもよい；
(i i) 前記 C D 166 は、霊長類 C D 166 であってもよい；
(i i i) 前記 C D 166 は、ヒト C D 166 であってもよい；または
(i v) 前記抗体または抗原結合ポリペプチドは、配列番号 62、配列番号 64、または配列番号 66 内のエピトープに特異的に結合してもよい；
請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 14】

C D 166 の C 末端細胞内ドメイン内のエピトープとの前記抗体または抗原結合ポリペプチドの K_D が、 $100\text{ nM} \sim 10\text{ pM}$ 、 $50\text{ nM} \sim 10\text{ pM}$ 、 $50\text{ nM} \sim 100\text{ pM}$ 、 $50\text{ nM} \sim 500\text{ pM}$ 、 $50\text{ nM} \sim 1\text{ nM}$ 、 $25\text{ nM} \sim 10\text{ pM}$ 、 $25\text{ nM} \sim 100\text{ pM}$ 、 $25\text{ nM} \sim 500\text{ pM}$ 、 $25\text{ nM} \sim 1\text{ nM}$ 、 $10\text{ nM} \sim 10\text{ pM}$ 、 $10\text{ nM} \sim 100\text{ pM}$ 、 $10\text{ nM} \sim 500\text{ pM}$ 、または $10\text{ nM} \sim 1\text{ nM}$ である、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 15】

薬剤に抱合されている、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 16】

前記薬剤が、検出可能部分または治療部分である、請求項 1 5 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 1 7】

前記検出可能部分が、ビオチン、酵素レポーター、蛍光標識、化学発光標識、i n v i v o造影剤、または放射性標識であるかこれを含む、請求項 1 6 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 1 8】

前記検出可能部分が、ペルオキシダーゼ、アルカリホスファターゼ (A P)、グルコースオキシダーゼ、または β - ガラクトシダーゼから選択される酵素レポーターであるかこれを含む、請求項 1 6 または 1 7 に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 1 9】

前記検出可能部分が、ジルコニウム - 8 9 (8 9 Z r)、ヨウ素 - 1 2 4 (1 2 4 I)、ヨウ素 - 1 3 1 (1 3 1 I)、ヨウ素 - 1 2 5 (1 2 5 I)、ビスマス - 2 1 2 (2 1 2 B i)、ビスマス - 2 1 3 (2 1 3 B i)、アスタチン - 2 2 1 (2 2 1 A t)、銅 - 6 7 (6 7 C u)、銅 - 6 4 (6 4 C u)、レニウム - 1 8 6 (1 8 6 R e)、レニウム - 1 8 8 (1 8 8 R e)、リン - 3 2 (3 2 P)、サマリウム - 1 5 3 (1 5 3 S m)、ルテチウム - 1 7 7 (1 7 7 L u)、テクネチウム - 9 9 m (9 9 m T c)、ガリウム - 6 7 (6 7 G a)、インジウム - 1 1 1 (1 1 1 I n)、またはタリウム - 2 0 1 (2 0 1 T l) を含む放射性標識であるかこれを含む、請求項 1 6 ~ 1 8 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 2 0】

請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドを含む、組成物。

【請求項 2 1】

前記抗体またはその抗原結合ポリペプチドに結合する能力を特徴とする二次抗体をさらに含む、請求項 2 0 に記載の組成物。

【請求項 2 2】

前記二次抗体が、第 2 の薬剤に抱合されている、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記第 2 の薬剤が、検出可能部分である、請求項 2 2 に記載の組成物。

【請求項 2 4】

請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドの重鎖可変ドメインおよび / または軽鎖可変ドメインをコードする配列を含む、核酸配列。

【請求項 2 5】

請求項 2 4 に記載の核酸配列を含む、ベクター。

【請求項 2 6】

請求項 2 4 に記載の核酸配列または請求項 2 5 に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 2 7】

抗体またはその抗原結合ポリペプチドを生産する方法であって、請求項 2 6 に記載の宿主細胞を、前記宿主細胞が前記抗体または抗原結合ポリペプチドを発現することを可能にする条件下で培養することを含む、方法。

【請求項 2 8】

前記抗体またはその抗原結合ポリペプチドを単離することをさらに含む、請求項 2 7 に記載の方法。

【請求項 2 9】

請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドを含む、キット。

【請求項 3 0】

前記抗体またはその抗原結合ポリペプチドに結合する能力を特徴とする二次抗体をさらに含む、請求項 2 9 に記載のキット。

【請求項 3 1】

前記二次抗体が、第 2 の薬剤に抱合されている、請求項 3 0 に記載のキット。

【請求項 3 2】

前記第 2 の薬剤が、検出可能部分である、請求項 3 1 に記載のキット。

【請求項 3 3】

- (i) 核染色試薬；
- (i i) ブロッキング緩衝液；
- (i i i) 洗浄緩衝液；および
- (i v) 封入剤

の 1 つまたは複数をさらに含む、請求項 2 9 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 3 4】

治療剤をさらに含む、請求項 2 9 ~ 3 3 のいずれか 1 項に記載のキット。

【請求項 3 5】

試料中の C D 1 6 6 を検出する方法であって、

前記試料を請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドと接触させること；および

前記試料の一部と結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出し、それにより C D 1 6 6 の存在または非存在を検出することを含む、方法。

【請求項 3 6】

組織試料中の C D 1 6 6 発現細胞を検出する方法であって、

前記組織試料を請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドと接触させること；および

前記組織試料中の少なくとも 1 つの細胞と結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出し、それにより前記組織試料中の C D 1 6 6 発現細胞の存在または非存在を検出することを含む、方法。

【請求項 3 7】

組織試料中の活性化リンパ球または活性化単球（白血球）を検出する方法であって、

前記組織試料を請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドと接触させること；および

前記試料中の少なくとも 1 つの細胞と結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出し、それにより前記組織試料中の活性化リンパ球または活性化単球（白血球）の存在または非存在を検出することを含む、方法。

【請求項 3 8】

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出することが、免疫組織化学、エレクトロフェログラフィ、ウェスタンブロット分析、免疫沈降分析、および / または顕微鏡法を実施することを含む、請求項 3 5 ~ 3 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 3 9】

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出することが、結合する抗体または抗原結合ポリペプチドのレベルを検出し、それにより C D 1 6 6 のレベルを検出することを含む、請求項 3 5 ~ 3 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 0】

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドのレベルを参照値と比較すること、または C D 1 6 6 のレベルを参照値と比較することをさらに含む、請求項 3 9 に記載の方法。

【請求項 4 1】

疾患または障害を処置する方法であって、

治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドを前記疾患または障害のリスクがあるか

前記疾患または障害に罹患している被験体に投与することを含み、ここで投与前に、C D 1 6 6 の存在が、

前記被験体に由来する試料を請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドと接触させる工程；および

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出し、それにより C D 1 6 6 の存在または非存在を検出する工程を実施することによって前記被験体に由来する試料中で検出されている、方法。

【請求項 4 2】

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出することが、免疫組織化学、エレクトロフェログラフィ、ウェスタンブロット分析、免疫沈降分析、および/または顕微鏡法を実施することを含む、請求項 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 3】

前記治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドが、免疫チェックポイントタンパク質に特異的に結合する、請求項 4 1 または 4 2 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 4】

前記治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドが、抗 C D 1 6 6 抗体またはその抗原結合ポリペプチドである、請求項 4 1 ~ 4 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 5】

前記治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドが、活性化可能な治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドである、請求項 4 1 ~ 4 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 6】

前記活性化可能な治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドが、薬剤に抱合されている、請求項 4 5 に記載の方法。

【請求項 4 7】

前記治療用の抗 C D 1 6 6 抗体またはその抗原結合ポリペプチドが、

(i) 重鎖可変ドメインであって、

(a) 配列番号 4 9 とアミノ酸位置 1 2 個のうちの 1 2 個、1 2 個のうちの 1 1 個、または 1 2 個のうちの 1 0 個で同一である重鎖 H C D R 1 ；

(b) 配列番号 5 0 とアミノ酸位置 9 個のうちの 9 個、9 個のうちの 8 個、または 9 個のうちの 7 個で同一である重鎖 H C D R 2 ；および

(c) 配列番号 5 1 とアミノ酸位置 1 1 個のうちの 1 1 個、1 1 個のうちの 1 0 個、または 1 1 個のうちの 9 個で同一である重鎖 H C D R 3

の 1 つまたは複数を含む、重鎖可変ドメイン；および/または

(i i) 軽鎖可変ドメインであって、

(a) 配列番号 5 7 または配列番号 5 8 とアミノ酸位置 1 6 個のうちの 1 6 個、1 6 個のうちの 1 5 個、1 6 個のうちの 1 4 個、または 1 6 個のうちの 1 3 個で同一である軽鎖 L C D R 1 ；

(b) 配列番号 5 9 または配列番号 6 0 とアミノ酸位置 7 個のうちの 7 個、7 個のうちの 6 個、または 7 個のうちの 5 個で同一である軽鎖 L C D R 2 ；および

(c) 配列番号 6 1 とアミノ酸位置 9 個のうちの 9 個、9 個のうちの 8 個、または 9 個のうちの 7 個で同一である軽鎖 L C D R 3

の 1 つまたは複数を含む、軽鎖可変ドメイン

を含む、請求項 4 1 ~ 4 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 8】

前記試料が、癌細胞を含む、請求項 4 1 ~ 4 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 4 9】

前記試料が、活性化リンパ球または活性化単球（白血球）を含む、請求項 4 1 ~ 4 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 0】

前記疾患または障害が、癌である、請求項 4 1 ~ 4 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 1】

疾患または障害のリスクがあるか疾患または障害に罹患している被験体のための治療の選択を補助する方法であって、

前記被験体に由来する試料を請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドと接触させること；

前記試料の一部と結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在または非存在を検出し、それにより C D 1 6 6 の存在または非存在を検出すること；および

前記試料中の C D 1 6 6 の存在または非存在を記録することを含む、方法。

【請求項 5 2】

前記試料中に C D 1 6 6 の存在が検出される場合に治療用の抗 C D 1 6 6 抗体またはその抗原結合ポリペプチドの投与から利益を得ることができる個体として前記被験体を分類することをさらに含む、請求項 5 1 に記載の方法。

【請求項 5 3】

結合する抗体または抗原結合ポリペプチドの存在量または C D 1 6 6 の存在量を参照値と比較することをさらに含む、請求項 5 1 または 5 2 に記載の方法。

【請求項 5 4】

治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドを投与することをさらに含む、請求項 5 1 ~ 5 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 5】

前記治療用の抗体または抗原結合ポリペプチドが、活性化可能な治療用の抗体またはその抗原結合ポリペプチドである治療用の抗 C D 1 6 6 抗体またはその抗原結合ポリペプチドである、請求項 5 4 に記載の方法。

【請求項 5 6】

前記治療用の抗体または抗原結合ポリペプチドが、薬剤に抱合されている、請求項 5 4 または 5 5 に記載の方法。

【請求項 5 7】

前記薬剤が、検出可能部分または治療部分である、請求項 5 6 に記載の方法。

【請求項 5 8】

前記治療用の抗 C D 1 6 6 抗体または抗原結合ポリペプチドが、

(i) 重鎖可変ドメインであって、

(a) 配列番号 4 9 とアミノ酸位置 1 2 個のうちの 1 2 個、1 2 個のうちの 1 1 個、または 1 2 個のうちの 1 0 個で同一である重鎖 H C D R 1 ；

(b) 配列番号 5 0 とアミノ酸位置 9 個のうちの 9 個、9 個のうちの 8 個、または 9 個のうちの 7 個で同一である重鎖 H C D R 2 ；および

(c) 配列番号 5 1 とアミノ酸位置 1 1 個のうちの 1 1 個、1 1 個のうちの 1 0 個、または 1 1 個のうちの 9 個で同一である重鎖 H C D R 3

の 1 つまたは複数を含む、重鎖可変ドメイン；および / または

(i i) 軽鎖可変ドメインであって、

(a) 配列番号 5 7 または配列番号 5 8 とアミノ酸位置 1 6 個のうちの 1 6 個、1 6 個のうちの 1 5 個、1 6 個のうちの 1 4 個、または 1 6 個のうちの 1 3 個で同一である軽鎖 L C D R 1 ；

(b) 配列番号 5 9 または配列番号 6 0 とアミノ酸位置 7 個のうちの 7 個、7 個のうちの 6 個、または 7 個のうちの 5 個で同一である軽鎖 L C D R 2 ；および

(c) 配列番号 6 1 とアミノ酸位置 9 個のうちの 9 個、9 個のうちの 8 個、または 9 個のうちの 7 個で同一である軽鎖 L C D R 3

の 1 つまたは複数を含む、軽鎖可変ドメイン

を含む、請求項 5 5 ~ 5 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 9】

前記試料が、癌細胞を含む、請求項 3 5 ~ 5 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6 0】

前記疾患または障害が、癌である、請求項 4 1 ~ 5 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6 1】

C D 1 6 6 を検出するための請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドの使用。

【請求項 6 2】

疾患または障害を処置するための請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドの使用。

【請求項 6 3】

疾患または障害のリスクがあるか疾患または障害に罹患している被験体のための治療を選択するための、請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチドの使用。

【請求項 6 4】

前記疾患または障害が、癌である、請求項 6 2 または 6 3 の使用。

【請求項 6 5】

疾患または障害を処置するための請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体または抗原結合ポリペプチド。

【請求項 6 6】

疾患または障害を処置するための医薬品の製造での使用のための請求項 1 ~ 1 9 のいずれか 1 項に記載の抗体またはその抗原結合ポリペプチド。

【請求項 6 7】

前記疾患または障害が、癌である、請求項 6 5 または 6 6 に記載の抗体または抗原結合ポリペプチド。